

平成30年度 高岡市水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

平成30年度は、高岡市上下水道ビジョンに掲げる、「市民とともに 未来へつなぐ 信頼の上下水道」を基本理念に、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの基本方針に基づいた施策事業を推進するなかで、子撫川受水量の引き下げによる受水費の抑制や人件費等の管理経費節減に努めるなど効率的な事業運営を図り、経営基盤の強化に取り組みました。

水道施設整備では、基幹管路である庄川幹線や能町ポンプ場から伏木配水場に水を送るための送水管更新事業をはじめ、老朽配水管や鉛給水管を耐震性に優れた管路への更新を進めるとともに、基幹施設整備として伏木配水場3号配水池改修工事を行うなど、安全で安心な水道水の安定供給と地震等の災害に強い水道施設の構築に努めました。

<給水状況>

本年度は、給水人口の減少や気候的要因により、年間の水需要は減量となりました。前年度と比較して総配水量が 406,763 m^3 、有収水量は 173,018 m^3 の減少となりました。

<財政状況>

本年度の収益的収支については、事業収益 3,367,611,395円、事業費用 2,736,146,309円で収支差引 631,465,086円の当年度純利益を計上しました。

資本的収支については、資本的収入額 389,953,981円、資本的支出額 1,864,555,527円で不足する額 1,474,601,546円は、減債積立金 298,262,078円、過年度分損益勘定留保資金 1,081,386,567円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 94,952,901円で補てんしました。